

祝 成人

おめでとう

平成27年成人式「はたちのつどい」は1月11日、市民センター大ホールで行われました。新成人の喜びと笑顔があふれ、会場は華やかな雰囲気になりました。



自分の行動に責任を持ち、自分の力で未来を切り開いていきます。

成人式実行委員会
実行委員長挨拶 久保田 裕人
(遠野町)



自分の選択した道に誇りを持ち、輝かしい未来のために歩んでいきます。

二十歳の抱負 成人式実行委員会
実行委員 佐々木 暁帆
(宮守町達曾部)



人と人との「絆」を大切にしながら、ふるさと「遠野」に貢献していきたい。

二十歳の抱負 成人式実行委員会
実行委員 白金 尚貴
(松崎町)



平成27年成人式「はたちのつどい」テーマ

RAY ~この光の始まりには君がいる~



1_260人の新成人と我が子の晴れ舞台を見つめる家族 2_会場内ではあちらこちらで記念写真を撮る光景が見られました 3_真剣な表情から大人としての自覚がうかがえます 4_家族に感謝の言葉を送る新成人 5_三本締めで締めくくり笑顔で浮かべる新成人 6_各町ごとに記念撮影



新たな門出に

晴れ着に身を包み、仲間との再会に喜ぶ笑顔があふれました。

平成27年成人式「はたちのつどい」は1月11日、市民センター大ホールで開催され、新成人は大人としての責任と希望を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

今年の成人式に出席した新成人は260人。着物や袴、スーツなどの晴れ着姿の新成人が華やかに会場を彩りました。会場では、仲間との再会に喜び合う様子があちらこちらで見られました。式典は、新成人の有志10人で行く成人式実行委員会が「RAY」この光の始まりには君がいる」をテーマに企画。同実行委員長の久保田裕人さんは「このテーマには、私たち一人ひとりが周りを照らすような存在になりたい」という意味を込

めました。自分の行動に責任を持ち、自分の力で未来を切り開いていきます」とあいさつ。本田市長は「遠野市の発展のために、一緒に未来を築いていきましょう」と激励しました。また、新成人を代表し、佐々木暁帆さんと白金尚貴さんが「はたちの抱負を述べ、家族や地域の人たちへの感謝と、未来を担う大人としての決意を表明。その姿からは、あふれる若さと情熱、そして大人としての自覚を感じさせました。

中学時代の恩師からのビデオレターが放映されると、会場は和やかな雰囲気になりました。最後は、新成人一同が家族に対し感謝の言葉と拍手を送り、三本締めで締めくくりました。喜びに沸く新成人の笑顔が会場を照らし、この日一番の拍手が会場に響き渡りました。

減少する若者

本市における今年の成人式の対象者は、平成6年4月2日から平成7年4月1日までの間に生まれた市内在住者および市内出身者の306人。少子化の影響で新成人の数は減少傾向にあります。進学や就職で遠野を離れる若者は多く、遠野の未来に暗い影を落としています。この問題を解く鍵は「若者の定着」です。

新たな志を胸に刻んだ新成人が一人でも多く遠野に残ってほしい。そのためには、今こそ、若者のリアルな本音を知る必要があるのではないだろうか。

新成人の皆さんに、抱負を聞きました！

「二十歳の抱負」

